



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月13日

上場会社名 株式会社ZOA

上場取引所 東

コード番号 3375 URL <https://www.zoa.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）伊井 一史

問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員管理本部長 （氏名）安井 明宏 TEL 055-922-1975

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	2,031	0.3	76	△21.8	79	△20.5	53	△21.3
2026年3月期第1四半期	2,025	△17.0	97	△22.0	100	△21.6	67	△23.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	42.20	—
2026年3月期第1四半期	53.73	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	4,942	3,153	63.8
2026年3月期	5,279	3,186	60.4

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 3,153百万円 2026年3月期 3,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	75.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	4,526	2.8	241	0.5	244	0.5	164	0.0	131.02
通期	9,700	1.9	497	2.2	503	2.0	340	3.8	270.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	1,454,000株	2026年3月期	1,454,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	195,567株	2026年3月期	195,567株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	1,258,433株	2026年3月期1Q	1,255,833株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果等を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇の継続や原材料・エネルギー価格の高止まり、為替相場の変動に加え、中東情勢をはじめとする海外経済の不確実性などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社の小売事業においては、パソコン本体について、Windows 10のサポート終了に伴う買い替え需要が一巡したこと等により販売が減少し、これに付随するサポートサービスの売上高も前年同期を下回りました。一方、インターネット通信販売事業においては、家電製品やバイク用品の販売が前年同期を上回り、売上高は増加しました。

不動産事業においては、賃貸収入は前年同期と同水準で推移しました。不動産販売については、当第1四半期累計期間における売上計上はありませんでしたが、今期中の販売を予定している複数の案件について、販売交渉を進めております。

これらの結果、当第1四半期累計期間の業績については、売上高2,031,391千円（前年同期比0.3%増）、営業利益76,235千円（前年同期比21.8%減）、経常利益79,550千円（前年同期比20.5%減）、四半期純利益53,111千円（前年同期比21.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1. 小売事業

小売事業全体の売上高は2,025,036千円（前年同期比0.3%増）となりました。各事業の実績は次のとおりであります。

（パソコン事業）

パソコン事業の売上高は1,016,097千円（前年同期比2.8%減）となりました。

Windows 10のサポート終了に伴う買い替え需要が一巡した反動等により、パソコン本体の販売が減少しました。特に、利益率の高いパソコン本体およびこれに付随するサポートサービスの売上高が前年同期を下回ったことから、収益面においても影響を受けました。

また、半導体の供給不足や中東情勢の影響等を背景とした商品価格の上昇により、消費者の買い控え傾向が強まり、販売は弱含んで推移しました。

（バイク事業）

バイク事業の売上高は41,495千円（前年同期比24.7%減）となりました。

バイク事業においては、店舗販売から通信販売への販売シフトを進めているため、店舗での販売が減少傾向にあります。

（インターネット通信販売事業）

インターネット通信販売事業の売上高は967,443千円（前年同期比5.4%増）となりました。

自社サイトの改修により、サイト内の商品検索機能および購入手続きの利便性が向上し、購入途中での離脱抑制につながったこと等から、販売は増加しました。

商品別では、中東情勢の影響等により供給が不足した温水便座のほか、品揃えを強化したヘアアイロンやドライヤー等の美容家電の販売が好調に推移しました。また、バイク用品についても、オイルやバッグ等の販売が増加しました。

2. 不動産事業

不動産事業の売上高は6,354千円（前年同期比0.6%減）となりました。

賃貸収入は前年同期と同水準で推移しました。不動産販売については、当第1四半期累計期間における売上計上はありませんでしたが、今期中の販売を予定している複数の案件について販売交渉を進めており、概ね計画に沿って進捗しており、今期末までには前事業年度を大きく上回る実績を見込んでおります。

（2）当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて336,699千円減少し、4,942,997千円となりました。その主たる要因は、現金及び預金が147,044千円、売掛金が141,310千円、商品が51,272千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債については、前事業年度末に比べて303,847千円減少し、1,789,280千円となりました。その主たる要因は、買掛金が73,229千円、未払法人税等が75,672千円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が93,337千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産については、前事業年度末に比べて32,852千円減少し、3,153,717千円となりました。この結果、当第1四半期会計期間末における自己資本比率は63.8%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月14日に公表いたしました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載した業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

（1）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,075,297	928,252
売掛金	500,022	358,711
商品	1,483,053	1,431,780
販売用不動産	240,470	337,351
その他	313,517	162,710
貸倒引当金	△414	△264
流動資産合計	3,611,946	3,218,543
固定資産		
有形固定資産		
土地	829,676	829,676
その他（純額）	148,885	144,056
有形固定資産合計	978,562	973,732
無形固定資産	7,898	6,571
投資その他の資産	681,290	744,149
固定資産合計	1,667,750	1,724,453
資産合計	5,279,697	4,942,997
負債の部		
流動負債		
買掛金	455,595	382,365
1年内返済予定の長期借入金	371,722	356,724
未払法人税等	105,547	29,874
賞与引当金	29,834	13,189
契約負債	290,084	274,845
その他	222,748	196,434
流動負債合計	1,475,532	1,253,433
固定負債		
長期借入金	499,976	421,637
長期未払金	4,133	4,133
退職給付引当金	113,486	110,076
固定負債合計	617,595	535,846
負債合計	2,093,127	1,789,280
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,986	331,986
資本剰余金	325,166	325,166
利益剰余金	2,758,759	2,717,488
自己株式	△255,944	△255,944
株主資本合計	3,159,968	3,118,696
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,601	35,020
評価・換算差額等合計	26,601	35,020
純資産合計	3,186,569	3,153,717
負債純資産合計	5,279,697	4,942,997

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,025,467	2,031,391
売上原価	1,462,168	1,481,767
売上総利益	563,299	549,623
販売費及び一般管理費	465,874	473,388
営業利益	97,425	76,235
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	1,917	2,217
有価証券利息	1,072	1,573
受取手数料	1,482	1,334
その他	95	—
営業外収益合計	4,572	5,129
営業外費用		
支払利息	1,986	1,814
営業外費用合計	1,986	1,814
経常利益	100,011	79,550
税引前四半期純利益	100,011	79,550
法人税等	32,542	26,439
四半期純利益	67,469	53,111

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	7,436千円	6,155千円

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	小売事業	不動産事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,019,077	6,390	2,025,467
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,019,077	6,390	2,025,467
セグメント利益	91,853	5,571	97,425

(注)セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	小売事業	不動産事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,025,036	6,354	2,031,391
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,025,036	6,354	2,031,391
セグメント利益	70,453	5,781	76,235

(注)セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。